

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	02	164010	有害鳥獣被害対策事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	1	農業生産の支援			
目的	農林産物や人身に対する被害を防止					
対象	市内全域の農林産物生産者及び鳥獣被害対象者					
意図	農林産物や人身に被害を及ぼす鳥獣対策を行うことにより、生産性や農村環境の向上を図る					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の追い払い、捕獲活動の充実 ○ハクビシン捕獲用わなの貸出 ○クマ出没に対する広報活動（広報はなまき、振興センターだより、FMONE、HP、看板の設置） ○電気柵設置に対する助成						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○補助・助成	○委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	クマ追い払い、シカ、カラス、ウソ捕獲活動	件	計画	400	400	
			実績	366	443	
②	捕獲わな貸出件数	件	計画	60	60	
			実績	42	41	
③	電気柵補助件数	件	計画	30	30	
			実績	32	80	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	被害防止計画捕獲頭数	頭	目標	3,300	3,300	
			実績	1,756	1,687	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市鳥獣被害防止計画及び岩手県第1次鳥獣保護事業計画により目標値を設定した。ニホンジカやハクビシンなどが増加し被害が拡大中なので農業被害額の低減を成果として設定できない状態。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	農林業の振興や市民生活の安全を保持するという観点から妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	外部から新たな有害獣が侵入しつつある現状から継続して事業を実施することにより被害防止に繋がる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	有害鳥獣による農林産物に対する被害は増加しており、対策の強化を求められている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	JAを経由して市内全域の農産物被害対策の要請にこたえているほか、クマについては市民からの通報に対して広報活動や追い払い、捕獲を行っており適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
鳥獣による農林産物被害は全国的に見ても拡大中であり、当市においてもその対応に苦慮しているところである。ただし、自然保護という面もあることから、岩手県第1次鳥獣保護事業計画により保護と捕獲のバランスを取ることや計画的に捕獲等の活動をおこなう必要がある。花巻市鳥獣被害防止計画に基づき、鳥獣被害対策実施隊による捕獲等活動を行うほか、ハクビシン捕獲用わなの貸出や電気柵設置補助により市民自らの被害防止への意識を高めていく。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	06	01	02	164010	有害鳥獣被害対策事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,567	4,571		1,004
財 源 内 訳	国・県	588	7		△ 581
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,979	4,564		1,585

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標  
農業の生産性を高めるとともに作業効率の向上を進める

事業開始の背景・経緯  
従来から生息しているツキノワグマやカラス等に加え、ハクビシンやシカ等のように新たな獣種による被害が発生している状況にあり、対象鳥獣の捕獲や自己防衛の促進をすることで被害の増加・拡大を抑える必要がある。

事業概要

- 鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の追い払い、捕獲活動の充実
- ハクビシン捕獲用わなの貸出
- クマ出没に対する広報活動（広報はなまき、振興センターだより、FMONE、HP、看板の設置）
- 電気柵設置に対する助成

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動のほか、電気柵による侵入防止を行っているが、農林産物被害は集落単位での取り組みを行う必要がある。  
また、ニホンジカのように全県で問題となっている獣種においては近隣市町を含めた広域での対応が必要である。

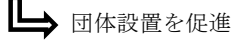
担当部署 部名 農林部 課名 農村林務課 担当係長 伊藤浩之 内線 6277

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 鳥獣被害対策実施隊 1,295千円  
農作物被害の防止や軽減を図るため、有害鳥獣の捕獲や駆除、追い払いを実施する。  
非常勤職員 延べ115名=1,295千円 ※年度内に退任、委嘱あり
- 有害獣対策事業補助 2,600千円  
被害を防ぐための自己防衛策である電気柵の設置に対する補助を行う。  
補助率  
・個人 1/2 (上限70千円)  
・団体 3/4 (上限300千円) <<新規>>  
申請見込み  
個人 1,500千円 (H27実績より)  
団体 1,500千円 (300千円×5件)  
計 3,000千円

団体設置によるメリット  
⇒設置費用の減  
(個人負担の減、防除範囲の拡大が見込める)



⇒ 団体設置を促進

<<実績>>

	H24	H25	H26	H27	H28
件数 (件)	18	24	42	32	80
金額 (千円)	934	1,141	2,035	1,523	2,600

- 捕獲の体制整備  
近年被害が増加しているニホンジカとハクビシンの捕獲強化として、地域ぐるみでの捕獲体制の構築を支援する。  
・ニホンジカ対策講習会  
時期 6月頃  
場所 花巻市大迫  
内容 くくり罠による捕獲の事例紹介、狩猟免許にかかる説明等  
・ハクビシン捕獲講習会  
時期 8月頃  
場所 花巻市  
内容 ハクビシンの生態、捕獲技術の講習等  
報償費 0千円
- 緊急捕獲活動支援事業補助金 152千円

○捕獲・駆除・追い払い等にかかる経費

需用費	375千円	くくり罠20セット (実施隊用) 小動物捕獲檻5個 (貸し出し用) 爆竹等 啓発用パンフレット 事務消耗品
委託料	150千円	有害獣対策環境整備業務委託 林道の除雪 (2路線)